

みなさん、こんにちは。

連日のW杯観戦で寝不足の方も多いのではないのでしょうか。SAMURAI BLUE のユニフォームに身を包んだ日本選手の奮起に期待したいですね。

## 1. 06 企画展「よみがえる戦国展 甲冑・武具」は明日から

戦国時代から江戸時代の甲冑・武具の貴重なコレクション

敵の攻撃から身を守る防具として作られた甲冑は、武器の発達と合戦形式の変化によって、その形が変化してきました。鎧・兜・刀剣・槍・火縄銃などのほか、顔の防具のひとつである“面頬”のコレクションも見所のひとつです。

展示総数は159点。南北朝や室町、安土桃山時代の兜・面頬・袖・腹巻など国内でも数少なく非常に貴重な資料も並んでいます。

歴史の流れに思いを馳せ、武家文化と甲冑や武具の変遷、精緻な工芸技術をご鑑賞下さい。



展示準備中



長巻・槍・指物・馬印



刀剣・馬具・火縄銃

期間中の催し

ギャラリートーク

講師 日本甲冑武具研究保存会

専務理事 白綾基之 氏

近畿支部長 小林 良 氏

日時 平成18年7月2日(日) 13:30~

料金 展覧会観覧料が必要

## 2. 啓明学院中学校のトライやる

明石市内のトライやるが終了し、今週は啓明学院中学の2年生2名が博物館でのトライやるに取り組みました。初日から企画展の展示替えを体験し、受付の仕事、倉庫で資料の片付け、出土遺物の整理など忙しい4日間を過ごしました。最終日は上ノ丸の武家屋敷跡(足軽屋敷跡)発掘現場で発掘を体験。テガリという小さなスコップや竹ペラを使って土を削り、土の中に埋まっている遺物に触れました。



土の色がちがう



慎重に削っていきます



掘った土をとりのぞく